

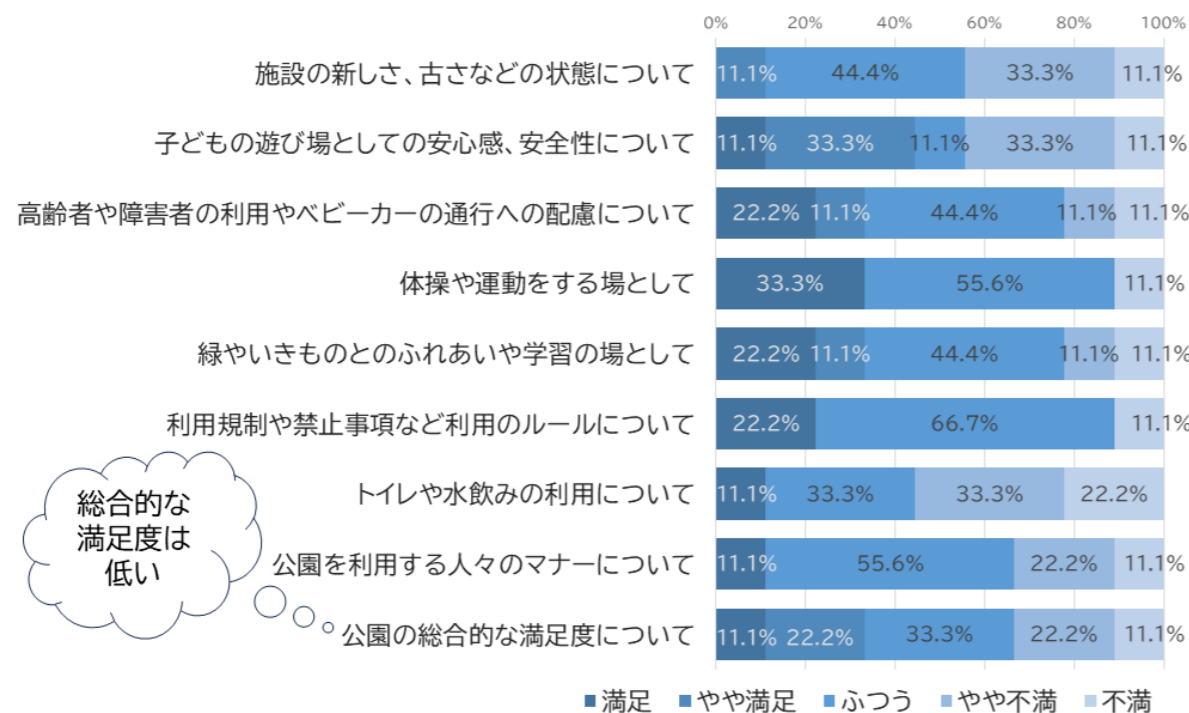
保育所アンケートを行いました

丸山公園を利用する保育所を対象にアンケートを行い、10名の保育士から回答を得ました。公園の満足度では、「トイレや水飲みの利用について」や「施設の新しいさ、古さ等の状態について」の満足度が低く、総合的な満足度が低い結果となっています。

「体操や運動をする場として」の満足度は比較的高いものの「満足」と「やや満足」を合わせた割合は約3割となっています。また、「子どもの遊び場としての安心感、安全性について」の満足度も比較的高くなっていますが、「やや不満」と「不満」とする回答も多く評価が2分された結果となっています。

満足度について

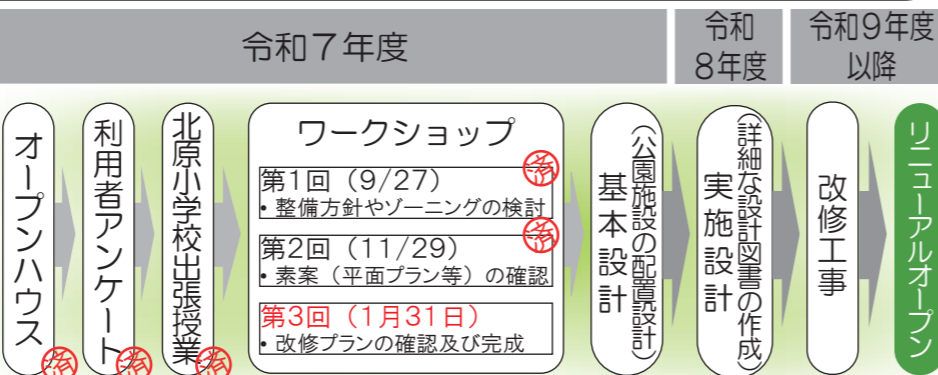
n=10(無回答1)



公園再整備の予定

ワークショップとは？

地域区民の方々の参加により、公園の役割や機能、共通の課題やテーマを設定して、議論を行い、現場を見る、案を考えるなど、協働して計画案をまとめることを目指しています。



ワークショップ参加者募集中！

開催予定日：1月31日(土)pm1:30～pm4:30

開催予定場所：野方区民活動センター分室

中野区丸山二丁目24番1-109号(丸山高齢者集会室 ※丸山公園南)

○参加希望の方は、QRコードから登録をお願いします。

※希望者多数の場合は、人数を調整させていただきます。



登録期限：1/27(火)まで

丸山公園 再整備ニュース

Vol.3

発行：中野区公園課
発行日：令和8年1月

■ごあいさつ

区では気持ちよく公園を利用していただけるよう、公園整備や維持管理に努めてきましたが、公園利用者の利用形態やライフスタイル等の社会情勢の変化に伴い、利用者の皆さんから公園に求められる機能や役割も変化してまいりました。そのため、区では「中野区公園再整備計画」を定め、中規模の公園について、地域の皆さんの意見を聴きながら再整備を進めております。

このたび、丸山公園を再整備することとなりました。時代やニーズに対応した子どもから大人まで満足できる「魅力ある丸山公園づくり」を推進するため、オープンハウスやワークショップを開催し、皆様のご意見を公園づくりに活かしていこうと考えています。

問合せ：中野区都市基盤部公園課公園整備係

電話：03-3228-5553

メール：koenseibi@city.tokyo-nakano.lg.jp

中野区公園再整備計画の
詳細はこちらから



第2回ワークショップを開催しました！

11月29日(土)、野方区民活動センター分室(丸山高齢者集会室)において、近隣にお住まいの方々にご参加いただき、第2回ワークショップを開催しました。

前回のワークショップでは、丸山公園の将来像及びゾーニング案を2案作成しました。今回のワークショップでは、前回の検討の際に皆様から出された意見を参考に、2つの公園施設の配置案(スタディプラン)をお示しし、良いところ・気になるところなどを話し合い、再整備計画の改修プラン作成に向けた意見調整を行いました。

ワークショップの詳細は、裏面をご確認下さい。

～当日のプログラム～

- 丸山公園再整備の進め方について
- 第1回ワークショップの振り返り
- スタディプランの説明
- ワーク①
「スタディプランの評価」
- ワーク②
「スタディプランの評価」の発表後、
平面プランに向けた意見調整
- まとめ
意見調整結果のまとめ



ワークショップの様子

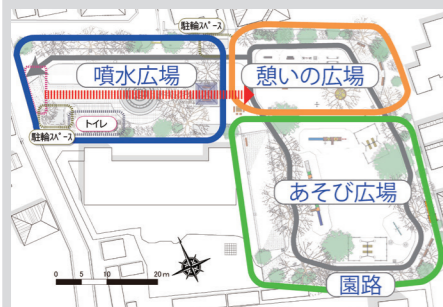
スタディプラン

前回のワークショップで検討した2つの『将来像・ゾーニング』に基づき、具体的な公園施設の配置例（スタディプラン）を示しました。

スタディプランⅠ案の将来像

すべての世代が楽しい公園

- 遊んで楽しい
- 休んで楽しい
- 綺麗で楽しい
- 集って楽しい



スタディプランⅠ案のゾーニング



皿型噴水池のイメージ

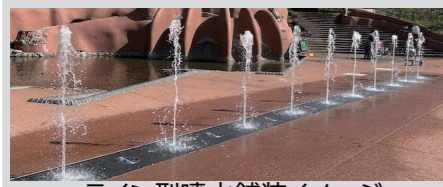
スタディプランⅡ案の将来像

世代を紡ぐ地域の代表公園

- 誰もが安心
- 特色のある施設
- 多様な世代利用
- 参加・交流の場所



スタディプランⅡ案のゾーニング



ライン型噴水舗装イメージ



丸山のイメージ

スタディプランⅠ案

(原っぱ)※草地広場
・くつろぎのある空間利用
・北側ケヤキ並木の健全性を高め緑陰形成を図る(樹形の調整剪定)

(広場舗装)
・見通しを確保する主軸の形成

(出入口①)
・拡幅し開放的な空間
・新青梅街道から連続する歩道

(トイレ)
・多目的+男+女+子ども(着替機能付)

(手洗い)
・水遊び等を考慮した手足洗い用

(公園樹木再整備方針)
凡そ50年が経過し、安全確保や管理コスト低減の観点から公園樹木の適正化を図る
・樹勢の悪い樹木を間引き除去して安全性の確保と既存木の生育環境を改善する
・計画上支障となるもの、見通しの確保等から除去が望ましいもの

(皿型噴水池)
・少し窪んだ形状で、噴水とともに、じゃぶじゃぶ池としての利用も可能
・大和公園、中村南公園(練馬区)と同様のタイプ

(健康遊具)
・ストレッチや軽い運動等の多様な健康ニーズに対応した健康遊具の配置(6基)

(サクラ)
・境界沿いのサクラを更新
・健全な生育が可能となるように更新位置を変更

(遊具)
・遊具ニーズの高い3種を幼児と児童に分けて配置
・かけっこ等の遊びに配慮して広場の地積を広くするように遊具を選定

(ゲージ型ボール遊び場)
・防球ネット・フェンスで5面を囲んだゲージ型:123m×W5m
・力いっぱい投げることができる空間
・ルールの検討が必須

(ベンチウォール)
・噴水周囲で水遊びを見守るためのベンチウォール

(四阿)
・日除けや荒天時の雨除け
・園路と噴水とともに軸線を形成

(周回園路)
・広場外縁に幅2mの園路
・高齢者の散歩や幼児の自転車等の練習、犬の散歩等の用途

スタディプランⅡ案

(広場舗装)
・水濡れを考慮し広場全体を舗装

(出入口②)
・拡幅し、管理車両や自転車の通行に寄与(水遊びシーズンを考慮)

(トイレ)
・多目的+男+女
・休憩所を併設

(出入口①)
・拡幅し開放的な空間
・新青梅街道から連続する歩道

(サクラ)
・境界沿いのサクラを更新
・健全な生育が可能となるように更新位置を変更

(シェルター)
・日除けや荒天時の雨除け
・噴水で遊ぶ子どもの見守り

(噴水機械室)
・噴水設備の機械室
・子ども用のトイレ・着替え室

(公園樹木再整備方針)
凡そ50年が経過し、安全確保や管理コスト低減の観点から公園樹木の適正化を図る
・樹勢の悪い樹木を間引き除去して安全性の確保と既存木の生育環境を改善する
・計画上支障となるもの、見通しの確保等から除去が望ましいもの

(ライン型噴水舗装)
・周囲の舗装と同じ高さの舗装板から水が吹き出すタイプ
・水遊びのオフシーズンは鑑賞型の噴水、動線として利用が可能

(健康遊具)
・複数の幼児用遊具を平面的に配置
・パネル遊具を組み合わせた柵により保護者の目の届く範囲で安全性を確保

(遊具)
・遊具ニーズの高い3種を幼児と児童に分けて配置
・ぶらんこは幼児用とインクルーシブ用(全ての子どもを対象)の皿型の複合型
・幼児利用が主たるエリアはウレタン系舗装で安全確保を図る

(ゲージ型ボール遊び場)
・防球ネット・フェンスで5面を囲んだゲージ型:123m×W5m
・力いっぱい投げることができる空間
・ルールの検討が必須

(ベンチウォール)
・噴水周囲で水遊びを見守るためのベンチウォール

(四阿)
・日除けや荒天時の雨除け
・園路と噴水とともに軸線を形成

(周回園路)
・広場外縁に幅2mの園路
・高齢者の散歩や幼児の自転車等の練習、犬の散歩等の用途

(丸山)
・人造石の築山
・公園の特色を表す施設として位置づけ
・登る・滑るを基本とした遊び要素

(レイズドベット)
・ユニバーサルプランター
・住民交流による愛護花壇

(児童用大型複合遊具)
・三層構造の大型複合遊具
・床高3mの位置からの眺望の変化(樹木の変化)が楽しめる
・登る、滑る、渡るなど、多様な遊び要素の体験

ワークショップの意見紹介

ワークショップでは、参加者で2つのスタディプランを評価して意見交換を行った結果、『スタディプランⅡ案』をベースに、今後調整を図り、改修プランをまとめることになりました。参加者から頂いたご意見(※一部抜粋)をご紹介します。

評価

スタディプランⅠ案

(良いところ)

- ・駐輪スペースの配置が良い。
- ・周回園路が良い。
- ・原っぱが良い。水遊びで疲れた子どもが休むのに良い。
- ・ボール遊びができる施設は良いが、近隣への配慮やルールの検討が必要。

(気になるところ)

- ・周回園路が広場を狭めている。
- ・広場はもっと広くしたい。

スタディプランⅡ案

(良いところ)

- ・出入口に近いトイレが良い。
- ・出入口に近い休憩場所が良い。
- ・丸山が良い。地域を暗示するほか、遊び場として良い。
- ・幼児用複合遊具が良い、ただし砂場は広くしたい。
- ・多目的広場が広くて良い。
- ・サクラの配置が良い。

(気になるところ)

- ・駐輪スペースはメインとなる出入口①付近にも必要。
- ・出入口④と園路を結んだほうが良い。
- ・児童用複合遊具は、広場を広く維持する形状に配慮する。

改修プランのまとめ方針

- ・改修プランは『スタディプランⅡ案』をベースにする

(留意点)

- ・「駐輪スペース」は主要な出入口付近に分散配置する。
- ・「児童用複合遊具」や「健康遊具」の形状・配置を工夫して「多目的広場」をできるだけ広く確保する(地域のイベントや保育所の運動会にも配慮)。
- ・「ベンチ」等は冬季の日照条件を考慮して北側配置に留意する。
- ・出入口④(都営丸山二丁目アパート側)を結ぶ「園路」の配置を検討する。
- ・園内の明るさと見通しの確保を図る。
- ・「防犯カメラ」は増設を含めて、配置を見直す。

(課題点)

- ・「多目的広場」における『ボール遊び』の利用ルールの緩和策を含めて、近隣居住者への意識調査を実施して再検討を図る。

中野区の公園ルールはこちらから

